



神社って いいよね〜

みなさま、こんにちは、
こんばんは。またはおは
ようございます。天地成
行です。今回は北九州市
のKさんが関西に出張し
たおりに撮りためた写真
が散りばめられた号になっ
ております。この写真は
呉服（くれは）神社といっ
て、日本最初の機織りの
神を祀っております。大
阪府は池田市にあります。大
参るといえば、さて、今
号ものんびりまいりましよ
うか。スタートです。

Kさんが 畿内巡り

北九州市のKさんがこのほど近畿を散策。池田城や今城塚古墳などを巡りながら一句捻りました。一部、天地成行の手を加えて披露いたします。『ココロトトノウ、俳句ごっこ』に影響受けた！？



本丸で迎えてくれた百日紅



古墳にて
木々を抜けるや
秋の風



小説・地球の歩き方「ナリノカミ」神降臨

天界。太陽神・アマテラスはため息をついていた。どうやらまたあの星についてのことらしい。

「ああ、どうなっておるのじゃ、今の地球は。環境に、エネルギーに、戦争に、疫病に、人口爆発に……。わたしの子どもたちはどうして解決できんのじゃ」

アマテラスは地上を

治める子孫に使いを出していた。長らく返事が返ってこない。おおよそ彼女の期待に沿う答えなどないことは彼女自身うすうすわかっている。

「あの男神を降臨させるのは癪（しやく）だが、もはや打つ手はないか」ひとりごち彼女は荘厳な天界宮廷内をさまよう。それと今日は「ナリノカミ」の宮

廷勤務祝い四百年であった。ナリノカミを呼び寄せる。アマテラスにとってナリノカミは「秘蔵っ子」であった。「ナリノカミ、そなたも少しは天界の勤めになれましたか？」

「アマテラスさま、いつもお引き立っていたいただきありがとうございます。地球の日本ではいま夏真っ盛りでございますね」

ナリノカミは中途でこの天界に入ってきた、いわば「中途入社組」。転生前の人間界での勤めが評価されて、「面接」にたどり着いた。その際に彼は、即興で母の寝姿を詠んだ句

「母は宇宙へ すやすやと 蛍の夜」を披露し、アマテラスを感心させ神の一員となった。そして四百年というわけである。

4日の徳川幕府開府400年の日に合わせて、天地成行殿は精神疾患にかかって江戸詰め瓦版屋を廃業し、西国の郷里・周防国に戻られたのじゃな

「はい、そうでございます。まさか、そのようないことがあって人生が終わったと思つたところからこのような地位にまで上げていただいたこと、誠に感謝しております」

「そなたの人徳でもあるぞよ。そなたは、『あの男神』に似たところがあるとおありじゃ。そなたの俳句に『一期一縁一期一円』というのがある。縁をまず大切に、周防国の四賢人（学者、俳人、ディレクター、出版社社長）をみつければ、山頭火に愛され紡いだ句の数を聞き及ぶこと、また人間の母を大切に、神を敬う心が大きければこそ今のそなたがある。更に申せばSNSでの愛のテキスト活動と、「アイシ

テル」の雨中での行進が宇宙にまでつながったわけじゃ」

「ははー」
アマテラスは地上の返信を待たずして、このナリノカミに少し試す意味も込めてこう問いかけた。

「してナリノカミ。そなたは最近、また転生前の人生の通つてきた道を視察したくはないか？ 転生四百年祝いとしよう。好きなだけ地球に下りて来なさい」

「ははー。ありがたうございます。母親の所在がもしかしらわかれるかもしれません。この上ない喜びでございます。ではアマテラス様、恐縮ですが私の第二の故郷であります出雲国に降り立ってもよいでしょうか？」



天地成行 著

俳句

MOJIKU



『コロトノウ、俳句』二刷

天地成行著の俳句エッセイ『コロトノウ、俳句』

『コロトノウ、俳句』初刷百部がなくなり、五十部増刷いたしました。みなさま、ご協力ありがとうございます。感想などお待ちしております。引き続きよろしくお願いたします。問い合わせは四面のメールアドレスへお願いします。

天地成行著の俳句エッセイ『コロトノウ、俳句』初刷百部がなくなり、五十部増刷いたしました。みなさま、ご協力ありがとうございます。感想などお待ちしております。引き続きよろしくお願いたします。問い合わせは四面のメールアドレスへお願いします。

2003年の3月2

アマテラスの頬が一瞬ひきつる。「あの男神」とナリノカミが出会ってしまったらどうなるか少し想像したが、もしかしたら……と思

（続く）



ニンニクラー油そば

「辛いがうまいよ！」にんにくはチューブ式をお好きなだけ。ラー油は少し少ないかな？という感じから増やしていくととても良いと思います。ニラも効いてます。ぜひお試しください。クックパッドなどで具体的な作り方はのってますよ。



天地成行こっとことクッキング

ちくわときのこのマヨ炒め

秋です。きのこです。ということであちくわとマヨネーズで炒めてみました。ちくわの甘味とマヨの優しさがきのこによくからむんです。この秋とてもおすすめの一品です。うちの母親も喜んで食べてくれました。

みんつど33号

～2023Kさん一句捨るの巻号

編集：天地成行

原稿は

tenchi2020@outlook.jp

(天地成行) までお願いします



どうも、こんにちは。ジョーズです。みなさまからのお便り募集しています。オーストラリア沿岸の金光光雄（落書きイラストレーター）

がお届けしました。上手に描ける？ えっへっへ、ありがとうございます。ではまた次号でお会いしましょう。えっ、天地さん来月も本が出るんですか？（笑）

お便り募集!